

『建設物価 建築費指数[®]』

2023年9月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：北橋建治）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建築費指数』について、2023年9月分の指数データを2023年10月11日13:00より公表いたします。

建築費指数は、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費を時点間や地域間で比較することや、建築費の動向を時系列的に観察することが可能です。

■2023年9月分の指数動向（工事原価指数 東京）■

▶集合住宅(RC造)の指数は、125.8(暫定値)と前月比で1.5%増、前年同月比6.4%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：型枠[+0.71]、上記以外の建築細目[+0.35]、上記以外の設備細目[+0.28]、等の9細目
マイナス寄与：鉄筋[-0.07]、鋼材[-0.00]の2細目

▶事務所(S造)の指数は、127.8(暫定値)と前月比で1.3%増、前年同月比5.1%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.81]、上記以外の設備細目[+0.30]、型枠[+0.10]、等の9細目
マイナス寄与：鋼材[-0.13]、鉄筋[-0.02]の2細目

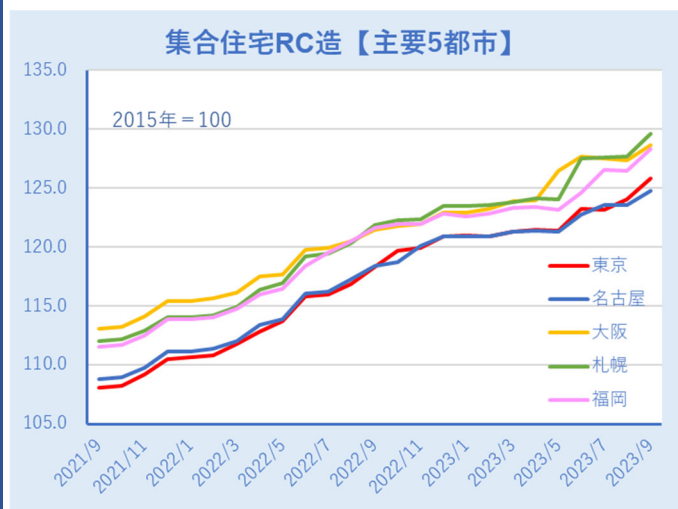
▶工場(S造)の指数は、127.5(暫定値)と前月比で1.2%増、前年同月比5.5%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.66]、上記以外の設備細目[+0.33]、型枠[+0.17]、等の9細目
マイナス寄与：鋼材[-0.15]、鉄筋[-0.03]の2細目

▶住宅(W造)の指数は、132.8(暫定値)と前月比で0.7%増、前年同月比2.8%増となった。

【前月からの変動要因】プラス寄与：上記以外の建築細目[+0.24]、型枠[+0.22]、上記以外の設備細目[+0.11]、等の8細目
マイナス寄与：鉄筋[-0.01]の1細目

■工事原価指数グラフ■



■工事原価指数値■

集合住宅 RC 造【主要5都市】		※2015年=100				
年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡	
2022年9月	118.3	118.4	121.4	121.9	121.6	
10月	119.7	118.7	121.8	122.2	122.0	
11月	119.9	120.1	122.0	122.4	122.0	
12月	120.9	120.9	122.9	123.5	122.8	
2023年1月	121.0	120.9	122.9	123.5	122.6	
2月	120.9	120.9	123.3	123.5	122.8	
3月	121.3	121.3	123.9	123.8	123.3	
4月	121.5	121.4	123.9	124.1	123.4	
5月	121.4	121.3	126.5	124.0	123.2	
6月	123.2	122.8	127.7	127.6	124.6	
7月	123.1	123.5	127.5	127.6	126.5	
8月	P124.0	P123.6	P127.3	P127.7	P126.5	
9月	P125.8	P124.8	P128.6	P129.6	P128.3	

■指数変動に寄与した主な細目■ 詳細な市況は <https://www.kensetu-bukka.or.jp/> をご覧ください。

プラス寄与

労働需給のひっ迫を背景に高騰した労務費を転嫁した工事費が浸透したことから、鉄筋工事(手間のみ)のほか、型枠工事・左官工事・電気設備工事等が上伸び、プラスに寄与。また、材料費の高騰に起因し、耐火被覆工事や内装工事、ユニットその他工事等が上伸び、プラスに大きく寄与。

マイナス寄与

一部の主要都市を除き、需要低迷から流通業者間の受注競争が激化したことにより鋼材市場は軟化し、異形棒鋼・形鋼等の鋼材価格の下落が指数動向にマイナスに寄与。



【本件に関するお問合せ先】

※「建設物価 建築費指数」は建設物価調査会の登録商標です。

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：伊沢・吉本 Tel: 03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail: econ@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_kentiku/